



名古屋いのちの電話



写真 文 珠 幹 夫

いのち

宮越由貴奈 (小学四年)

いのち 命はとても大切な

人間が生きるための電池みたいだ

でも電池はいつか切れる

命もいつかはなくなる

電池はすぐにとりかえられるけど

命はそう簡単にはとりかえられない

何年も何年も

月日がたつてやつと

神様から与えられるものだ

命がないと人間は生きられない

でも

「命なんかいららない。」

と言つて

命をむだにする人もいる

まだたくさん命がつかえるのに

そんな人を見ると悲しくなる

命は休むことなく働いているのに

だから 私は命が疲れたと言うまで

せいっぱい生きよう

すずらんの会編・角川書店

「電池が切れるまで」

—子ども病院からのメッセージ—



新しい職務を受けて

愛知いのちの電話協会理事長 野村 純 一

「名古屋いのちの電話」への皆様方の日頃のご協力に感謝申し上げます。

愛知いのちの電話協会の発展に尽くしていただき、長らく理事長を勤めてくださった長岡利貞氏の後を受けて、この3月より理事長の職務を引き継ぐことになりました。前理事長の時と同じように名古屋いのちの電話へのご支援をくださいますようお願い申し上げます。また、何分経験においても識見においても未熟な者ですので、ご指導をお願いしたいと思っております。

名古屋いのちの電話は1985年に日本で23番目のセンターとして開局し、1999年からは長年の課題であった365日24時間休むことなく電話を通して相談に耳を傾ける「眠らぬダイヤル」を実現することができました。現在では年間20,000件近くの電話相談にボランティアの相談員が応じていますが、回線が塞がっていて電話がなかなか繋がらない状態になることも起きています。また、2001年からは厚生労働省の後援のもとに全国で自殺予防フリーダイヤル週間を実施するようになりました。この背景には、中高年層を中心に1998年以降に急増した自殺を防止するために厚生労働省も対策に力を入れることになったことがあります。

いのちの電話はいろいろな役割を果たしている大勢のボランティアの方たちの支援によって成り立っていますが、中でも直接に電話の相談に耳を傾ける相談員の役割は何よりも重要です。現代社会の特徴でしょうか、様々な心の危機を持ちながらも相談する相手がなく誰にも相談できずにひとりで悩んでいる人が大勢います。いのちの電話はそのような方々と電話での対話を通して、危機を

乗り越えて生きる力を見出していけるように支援するように努めています。一人ひとりの尊いのちに関わる大切な活動です。

開局から18年経ちまして名古屋いのちの電話を取り巻く状況も変わってきました。長岡前理事長のもとで、新しい状況に対応するために多くの方々の協力を得て運営面での様々な整備が計られてきました。相談をさらに充実させるためには、常に改善に取り組み、より多くの相談員の充実に努めなければならないでしょう。時々新聞などで「いのちの電話、相談員が不足してピンチ」などとショッキングな見出しで報じられることがあります。また、現在の日本の経済状況の厳しさから、法人から寄付金が難しくなってきました。また、財政も大きな課題でしょう。いのちの電話にとりましては常に大勢のボランティアの皆様が協力してくださっていることは力強いことです。この活動は見える形でご支援くださっている方ばかりでなく、見えないところで支えてくださっている方々によって成り立っているからです。

新しく理事長という重責を担うことになりました。私も名古屋いのちの電話のすべてを理解しているわけではありませんので、学ばなければならないことがたくさんあります。幸いにも長岡利貞前理事長が常務理事として助けてくださいます。また、専任してくださっている加藤省吾事務局長をはじめ皆様方に助けていただいて与えられた職務を果たしていきたいと思っております。

今後とも「名古屋いのちの電話」が社会的使命をさらによりよく果たしていくことができますように、皆様方のご協力、ご支援をお願いしたいと思います。



六年間をふりかえって

愛知いのちの電話協会常務理事 長岡利貞

このたび理事会で理事長の職を辞し、そのあとを野村司教にお願いし、私は常務理事として新理事長をお助けすることが決まりました。3期6年余り、皆様からの格別なお力添えをいただいたことを心よりお礼申しあげます。理事長を辞したことは特段の理由があってではなく、この変動の激しい世界にあって、長期に同一人がその任にあたることは自然法的に不適であるとの私見に基づくものです。

私は多年、青年期を研究してきました。青年期の延長という議論もあって、10歳から30歳ごろまでがそれにあたりとされています。この時期は危険と平穏が同居し、内向と外向が緩をなし、時に理解に苦しむようなことが突発する時として知られています。そしてこの時をどう克服するかが、後の生涯に影響をあたえたとされています。今少しこの時期を観察すると、そこには序破急があり、節目があることがわかります。とくに14歳と16歳はその節目があざやかです。ごく順調に育ってきた人がある日突然荒れはじめたり、また引きこもったり、その変わりように周りが驚くものこの2つの時節に顕著です。いわば若者の厄年ともいえる年まわりです。それがこの節目を越えて18歳の声を聞くと、いつのまにか落ちつき新しい人

生をはじめます。

私は名古屋いのちの電話もこの人の発達になぞらえることができることに気づきました。発足当座は、いわばガムシャラ時代でした。それが14年、16年の節目のころにはそれまで積み残した課題が噴出しました。幸い自由で闊達な論議という伝統の中で問題点が明らかになってきました。その成果は不文法で出発した組織も「組織運営規則」という形で成文化できたこと、もう1つは「相談員の手引き」が改訂されいっそう充実したものになったことをあげることができます。これらをどう根づかせるかが今後のわたしたちの課題です。

また当面の課題として「つながらない電話」対策と、「対応困難事例の検討」の2つがあります。後者については、私は相談員が対応に手こづり、傷つき、やがて意欲を失うという現実を承知しています。しかし相談員のグチだけでは前進がありません。その折には今一度、相談員が当惑している「以上に」かけ手が苦しんでいることに改めて思いを致す、つまり電話相談の初心に帰ることにより新しい道が開けると信じています。新理事長のもと新しい時代を創りたい。是非ご声援をお願いいたします。

新理事 評議員名

理事長	野村純一	カトリック名古屋教区司教	評議員	安藤和彦	梶原 壽	加藤明宏
常務理事	長岡利貞	いのちの電話連盟理事		兼田智彦	菊島正雄	小林 茂
理事	榎本 和	共和病院院長		関口純一	長井 潤	長岡利貞
理事	岡部快圓	大須観音齋生院貫主		長瀬治之	西沢信正	濱下訓子
理事	鈴木郁雄	ユニー（株）取締役会長		K・ハンフリーズ		水谷 颯
理事	戸田安士	金城学院理事長		馬上貴美子		
理事	豊田彬子	(財)豊田市国際交流協会理事長				
監事	内河恵一	内河・雑賀法律事務所弁護士				(敬称略・50音順)
監事	小山 勇	中日新聞社取締役相談役				

2003年度 事業報告

2003年度も愛知いのちの電話協会の電話相談活動に、多くの方々から温かいご支援とご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。またこの一年を通じ一日の休みもなくご奉仕頂きました相談員の方々に、改めて敬意と謝辞を申し上げます。

1985年の開局以来この18年間で、272,378件（うち52,398件の無言電話を含む）の電話相談を受けております。2001年より厚生労働省の後援のもとに自殺防止のフリーダイヤルが始まりました背景には、年間3万人の自殺者の防止対策ということがありますが、全国的な取り組みとしてのいのちの電話の果たす重要性が高まってのことと思われる。こうした活動を支えてくださった多くの支援者と、電話相談員の皆様のご尽力があつたのことと思います。

「相談員養成講座」も順調に育っており、2003年度には第13期生として25人の方が認定されました。そして2004年1月からは14期生として98人の方が応募されました。

養成委員会

委員長 長瀬 治之

14期の養成講座がこの2月から始まりました。他の施設では電話相談員を募集してもなかなか集まらないという声を耳にする中、名古屋いのちの電話では100人近い応募がありました。今まで培ってきたネットワーク、広報活動などが実を結んでいる証拠だと思えます。これから一年半に及ぶ研修の後、電話相談員として認定を受け、実務につくこととなります。

私がいのちの電話相談活動に参加した頃と比べ、利用者に対して飛躍的に電話での応対が難しくなっている印象があります。利用者の方がどんどん電話相談の「専門家」に成長していくのに、電話相談員として認定していくカリキュラムにはそれに応じられるような変更を加えることができていません。実際に電話で相談を受けてみると電話相談に出る前に思い描いていたイメージとの差、あるいは、養成での研修と電話相談での実地との差、そういった「差」が大きかったとしても何とかそれに対応できるような術を身につけてもらいなるべく長く続けてもらうような研修が準備できないかと考えています。

身体が障害を受けたときの救急は119番が受け持っているのに、こころがSOSを発信するとき、それも24時間対応してくれるところはほとんどありません。これほど市民運動としての社会的意義の高さがあるにもかかわらず、24時間対応できるエネルギーを求められるボランティア活動が少ないことを考えると、研修を終え認定を受けた人は一年でも長く電話相談活動に関わってほしいと願います。

相談委員会

委員長 兼田 智彦

相談委員会として活動を始めて3年を終えることができました。研修スタッフ・スーパーバイザー・相談員の皆様のご協力に感謝いたします。

いのちの電話の相談員は毎年登録を更新し、その誓約書には継続研修への参加やスーパービジョンを受けることが義務付けられています。2003年度は以下の活動を行いました。

- 1 継続研修は12のグループに分かれて、延べ120回行いました。また、全体の研修を15回行いました。
- 2 スーパービジョン・ピアスーパービジョンは相談員が年1回各自行いました。
- 3 毎年行われるフォーラムを9月7日名古屋市教育館で行い、70名の参加をえて、電話相談のあり方について話し合いを深めました。
- 4 12月1日～7日に全国的に行われた「自殺予防いのちの電話」に参加し、名古屋では361件の相談電話を受信しました。
- 5 東海地震の地震情報が出された場合の対応について、事務局と共同で取り決めをまとめました。
- 6 登録更新研修会を4月に行い、約100名の参加をえて研修を深めました。

広報委員会

委員長 長井 潤

「いのちの電話」での広報委員会の主な働きとして①機関紙の編集と発行、②市民公開講座の計画と実施、③会員への誕生日カードの製作と発送、④チャリティコンサートの企画と実施、が挙げられます。

そのいずれも、関わる多くの方々の多大なご奉仕によって支えられています。

機関紙は昨年度、56号、57号、58号を発行しました。特に毎号表紙を飾る文珠さんの写真は、名古屋いのちの電話の「顔」としてなくてはならないものになっています。毎号の快いご提供は感謝です。機関紙は、今年も新たな編集委員長のもと、より内容に工夫をして発行する予定です。

市民講座は、2月28日、長年テレビドラマ制作の第一線で活躍された伊豫田静弘氏に「いのちが輝くとき～ドラマチックということ～」と題して講演をいただきました。124名の参加をいただき、素晴らしい講演会でした。〔講演要旨は機関紙58号に掲載いたしました〕

お誕生日カードの製作と発送は、地味ではありますが大切なことです。毎月何十枚ものハガキに絵を描き、宛名を書いて発送するという大変な労力を伴うご奉仕によって支えられています。本当に感謝です。

チャリティーコンサートは本年度2回実施をいたしました。8月に行われた泉堅氏の歌とメッセージ「あなたは、愛されています！」は、たまたま旅行で万座温泉に行った相談員の方が、氏の歌と女将共々のお話に感動したのが契機となって実施したユニークなコンサートでした。

4月に行われた「カンツォーネとアリアの夕べ」は、会場満席の盛況もさることながら、これまでの多くのコンサートの中でも最高の内容と評価をいただきました。

「いのちの電話」のチャリティーコンサートは、その内容と価格を考えれば「聴かなければソン！」する企画です。しかも、多くのご来場があればあるほど寄付金も増えるというみんなニコニココンサートです。今後の情報にご注目下さい。

多くの方々のご支援とご奉仕に支えられたことを、改めて感謝申し上げます。

総務委員会

委員長 植田 望

平成16年度より「愛知いのちの電話協会」は、相談業務がよりスムーズに行われるように新しい運営規則が作成され、組織の一部見直しや改革が行われました。その中で総務委員会が新たに発足しました。

運営規則では、総務委員会は事務局と協力して協会の運営の円滑化を図ることを任務とすると規定されています。

24時間365日「眠らぬダイヤル」を旗印に年間2万件を超す相談電話を受信しているいのちの電話は、相談員をはじめそれを支えている事務局・各委員会・理事・評議員等々、一人一人のボランティア精神によって成り立っているといっても過言ではありません。

相談員とそれを支える組織（各委員会等）は、車の両輪です。両輪が上手くかみ合って稼働するようハンドルを握る事務局が上手に運転していかないとぶれてしまってチカラがひとつにまとまりません。

事務局を支え、相談業務がスムーズにいくための調整役・推進役が今まで組織にはありませんでした。

そこで運営規則では、運営協議会（養成・相談・広報・財務・総務の5委員会の委員長、ベルの会及び友の会の会長、事務局長）を設置し、組織間の情報交換及び事務連絡・調整を行い（当面は2か月に1回開催）、組織の円滑な運営を図ろうとしています。

それを受けて総務委員会では、組織全体にかかわる内容を把握し事務局と協力しながら、ハンドル役の事務局を支えていくのが、総務委員会のとりあえずの役割かなと考えています。

財務委員会

委員長 西沢 信正

【2003年度決算】

「名古屋いのちの電話」を支える主な収入源というのは、助成金、賛助会費、寄付金、それに養成講座受講料となっています。助成金は愛知県共同募金会と東海テレビ福祉文化事業団で合わせて85万円。賛助会費は496万円、寄付は345万円、年末募金は96万円と前年比170万円の減収という結果が出ました。ことに昨今の景気の停滞で、法人会費が滞納もしくは減額になって全体で63万円の減収でした。それを補う意味で支出の削減は余儀なくされ、人件費は2年前に比べ140万円のカット、車庫賃借は昨年来取りやめ、文具、印刷費、消耗品、雑費の支出を大幅に切りつめてきました。みこころセンターで使用していた研修会場も可能な限りこのセンターでおこなっていただくように会場の調整をして教育訓練費の会場費を抑えてきました。一方東海地震対策費としましては、毎年100万円予算を計上しております。いざというときのために、非常食、飲料水、バッグの用意をしておりますが、災害が起きた場合の電話相談の場所、相談員の安全などに心がける費用として対策費としてあてております。また名古屋いのちの電話創立25周年記念事業引当金として毎年100万円積み立てることになりました。

【2004年度予算】

収入は全体に控えめに、ほぼ2003年度決算に準じてたてられております。支出面では教育訓練費を50万円増額して、継続研修、スーパービジョンといった相談員の研修費に振り当てることといたしました。また養成講座も順調に軌道にのり施行されております。今期は14期生で、現在46名を養成中であります。

2003 年度収支計算書

単位：円

科 目	2003 年決算
(貸方) 収入の部	
助成金	850,000
賛助会費 (A)	1,070,000
賛助会費 (B)	665,000
賛助会費 (C)	483,000
会費 (個人)	0
会費 (法人)	2,550,000
相談員・友の会会費	196,000
寄付 (個人)	2,267,280
寄付金 (法人)	1,177,760
年末募金	964,000
講座受講料	2,758,000
受取利息	803,250
雑収入	174,229
当期収入合計 (A)	13,958,519
前期繰越	7,257,641
収入合計 (B)	21,216,160
(借方) 支出の部	
事業費	
教育訓練費	2,360,647
広報費	547,065
調査研究費	0
会議費	0
特別事業費	0
連盟分担金	256,000
諸会費	10,000
(事業費合計)	3,173,712
管理費	
人件費	3,938,200
需用費	
家賃	2,520,000
共益費	163,800
車庫賃借料	0
光熱水道費	612,714
通信費	448,934
法定福利費	127,868
賃借料	129,570
旅費・交通費	9,270
文具印刷費	203,298
営繕費	20,790
消耗品費	127,520
雑費	260,071
東海地震対策費	10,823
25 周年記念事業引当	1,500,000
(管理費合計)	10,072,853
当期支出合計 (C)	13,246,565
当期収支差額 (A) - (C)	711,954
次期繰越収支差額 (B) - (C)	7,969,595

2004 年度予算

単位：円

科 目	2004 年予算
(貸方) 収入の部	
助成金	850,000
賛助会費 (A)	1,000,000
賛助会費 (B)	700,000
賛助会費 (C)	500,000
会費 (個人)	0
会費 (法人)	3,300,000
相談員・友の会会費	0
寄付 (個人)	2,200,000
寄付金 (法人)	1,300,000
年末募金	1,000,000
講座受講料	1,980,000
受取利息	700,000
雑収入	50,000
当期収入合計 (A)	13,580,000
前期繰越	7,969,595
収入合計 (B)	21,549,595
(借方) 支出の部	
事業費	
教育訓練費	3,500,000
広報費	600,000
調査研究費	10,000
会議費	20,000
特別事業費	20,000
連盟分担金	300,000
諸会費	20,000
(事業費合計)	4,470,000
管理費	
人件費	4,000,000
需用費	
家賃	2,520,000
共益費	163,800
車庫賃借料	0
光熱水道費	650,000
通信費	500,000
法定福利費	100,000
賃借料	279,720
旅費・交通費	50,000
文具印刷費	400,000
営繕費	150,000
消耗品費	300,000
雑費	400,000
東海地震対策費	1,000,000
25 周年記念事業引当	1,000,000
(管理費合計)	11,513,520
当期支出合計 (C)	15,983,520
当期収支差額 (A) - (C)	2,403,520
次期繰越収支差額 (B) - (C)	5,566,075

グラフで見る名古屋いのちの電話

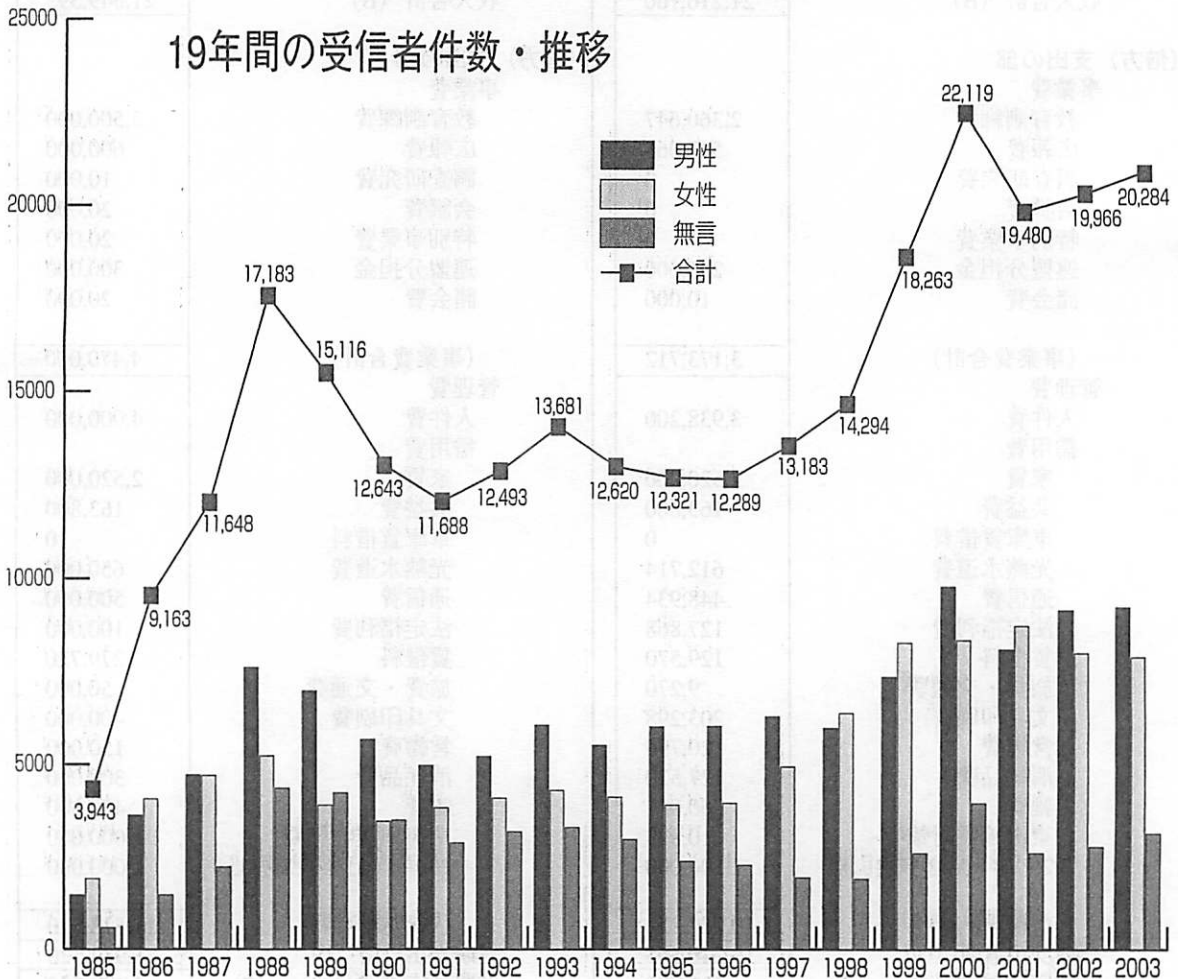
○ 19年間の受信件数の推移 (1985年7月～2003年12月)

1985年の開局からの総受信件数は、272,378件でした。(うち無言電話の52,398件を含む) 2003年度の一日あたりの平均受信件数は、55件になります。

2001年度から始まりました厚生労働省の後援による、自殺予防のフリーダイヤルは、3年目を迎え、12月1日から7日までの一週間で401件(無言電話83件を含む)でした。2004年度もフリーダイヤルは続行されることになりました。

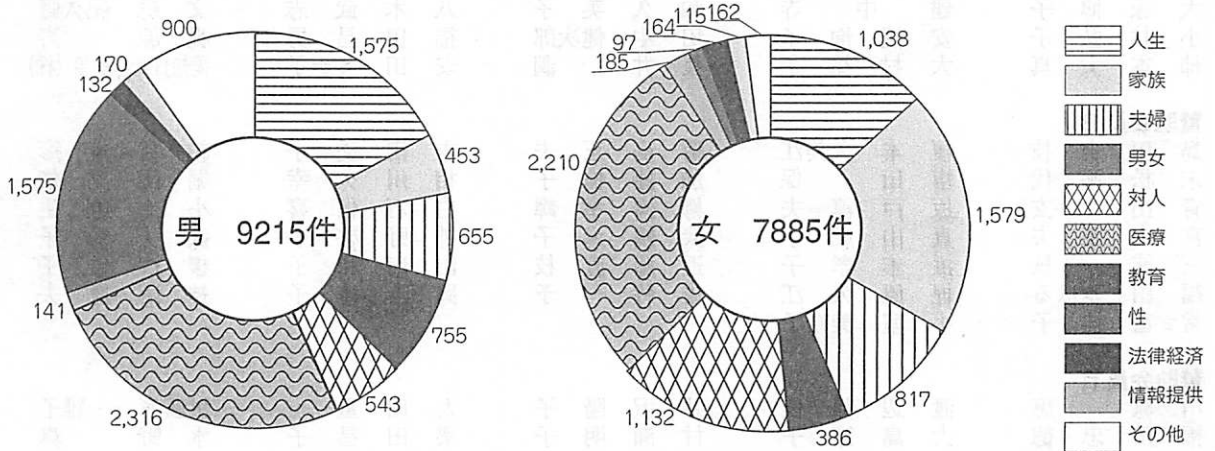
○ 19年間の受信件数・推移 (1985年～2003年)

	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	合計
男性	1,465	3,626	4,721	7,603	6,979	5,670	4,970	5,210	6,069	5,514	6,025	6,038	6,301	5,989	7,364	9,800	8,114	9,173	9,215	119,846
女性	1,905	4,071	4,700	5,224	3,905	3,469	3,836	4,094	4,306	4,125	3,911	3,966	4,940	6,392	8,289	8,357	8,749	8,010	7,885	100,134
無言	573	1,466	2,227	4,356	4,232	3,504	2,882	3,189	3,306	2,981	2,385	2,285	1,942	1,913	2,610	3,962	2,617	2,783	3,184	52,398
合計	3,943	9,163	11,648	17,183	15,116	12,643	11,688	12,493	13,681	12,620	12,321	12,289	13,183	14,294	18,263	22,119	19,480	19,966	20,284	272,378



2003年度 相談内容別受信状況（1月～12月）

		人生	家族	夫婦	男女	対人	医療	教育	性	法律経済	情報提供	その他	総計
総計	男	1,575	453	655	755	543	2,316	141	1,575	132	170	900	9,215
	女	1,038	1,579	817	386	1,132	2,210	185	97	164	115	162	7,885
	計	2,613	2,032	1,472	1,141	1,675	4,526	326	1,672	296	285	1,062	17,100



2004 さくら道国際ネイチャーラン —ひとりで走る「名古屋→金沢」250km—

点滴

旧国鉄バス名金線（名古屋→金沢）車掌、故佐藤良二さんは太平洋と日本海を桜のトンネルで結ぼうと一人で桜の苗木を植えていった。彼の遺志は、その道を夜を徹して走り抜く“ウルトラマラソン”として引き継がれた。今年も4月25日（土）早朝、約80人のランナーが名古屋城をスタート、国道156号線を岐阜県から富山県を抜けゴールの金沢市兼六園を目指し夜を徹して走り続けた。標高の最も高い郡上市高鷲町のひるがの分水嶺（860m）では午後7時半頃から雪が降り始め、かつてない寒さと強風に耐えて1位のランナーは翌26日（日）午前8時13分、兼六園にゴール。

物好きな追っかけが2人、自転車でランナーたちを追っかけていった。1人は2回目、1人は初参加の私。2人の約束は、途中で何があっても自己責任、相手のことは考えないで目的はただただ兼六園。25日午後6時頃郡上市白鳥町到着、ここまでは強い北風と戦いながらの2人旅、いよいよ最初の難関ひるがの分水嶺を目指しての坂道を自転車を押しながら歩いているとランナーたちが追い越していく。分水嶺到着午後8時頃。降りしきる雪の中で懐中電灯を振りかざしながら地元の人々が声援を送ってくれる。ここからは下り坂、一気にかけ降りる予定が、降りしきる雪と、思ったより暗い道路を自転車の明りを頼りに、ブレーキをかけながら恐る恐る下っていく。雪の中ライトアップされた満開の荘川桜、0度近い寒い真っ暗な道をひたすら走らせていくと、前方に薄ぼんやりと明りが見える。5km毎に置かれたエイドステーション（補給所）だ。ああまた見えた明りが。とその繰り返しをしながら兼六園を目指す。26日（日）午前9時頃スタートから26時間後、やっとの思いで兼六園到着。もう二度と自転車に乗りたくない。（U. N）

ご援助ありがとうございます

2004年1月より5月末日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共に報告を申し上げます。(順不同・敬称略)

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただいております。

社会福祉法人愛知のちの電話協会
理事長 野村 純一
財務委員会

賛助会員 A

小岡前大小柿	川田田塚林本	義庸豊博弘大	雄男子子子真	富梨向建安大	安本田中達村	玲将正 恂祐	子代俊寺子子	小高田和田長	野橋畑久中井	孝勝洋英健次	児人子子郎潤	鈴小田八福安	木川上木田田	郁双々文武昌ミチ	雄子蔵志男子	伊落石文梶愛知	藤合原珠原日野自動車	美亨之紀	江子浩野寿(株)
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------	--------	---------	------------	------	----------

賛助会員 B

島末青宮三福常	田松山内浦田富	吉幸 英一みは佳	枝代玄夫秋る子	榎塩坂真浜梶小	本田戸山本原室	久美淳成孝久美奈	江保夫子子江子	菊加柳武近佐	島藤澤嶋藤竹	正倫幸米直一	夫子輝子枝予	吉相白神山岡	田川石野口本	愛久信啓和博	子幸喜子子子	柏堀小武榎神	谷田山藤戸田	靖正恒尋佳輝	彦俊生子子子夫
---------	---------	----------	---------	---------	---------	----------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

賛助会員 C

川福齊中矢加林山桜山	原田藤井野藤 下井崎	忠喜世文静 純夕淳京	惠世子子枝武子子子子	渡大相瀧水鶴橋岡加水	辺島馬根谷本田藤谷	邦節幸智節和良喜登敦	俊子子子子子男江子子	井村片浅小松渡神寺金	沢瀬岡井栗田辺尾田岡	陽明倭き厚 香初弘明	子子子子紀昭子子子美	太栗田相細松吉尾中日本福音ルーテル復活教会婦人会	田田中川川田田関谷	重昌さ義美一加代塩	一子子治子路子稔子	伊藤水林神中小竹野野浅	藤野 谷出川内村野	孝野 千将智眞宏妙喜代	一雅子真晴弘子子子子子
------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	--------------------------	-----------	-----------	-----------	-------------	-----------	-------------	-------------

寄付金

中望近山持加舟秋杉松梶富山	川月藤本田藤橋田藤村原江本	幸千多富宣厚いあ順睦 真富美子	子成美子夫子え子平子寿美子	永榎太西安佐小鈴豊後土高山	井本田沢原野林木田藤屋橋川	洋智恵信律純 江忠美孝倫	子和子正子子茂智美一子子子	小加中林豊山水加柴小野鈴佐	宅藤川 田口谷藤山川口木藤	重明幸和理幸 み漠邦博邦紀	雄宏子子恵男巍き人泰之雄子	金沢服内武西野武岡馬聖鬼	聖木部川保寺村田崎上リマ	道富正輝知紘潔和貴修洋	院拓美邦彦磨子子子子子	常石市高中樋尾渡鳴野安樫	富原山橋川口玉辺海殿達尾	佳容よ郁鋪次光亘友照恂	子子子子子雄雄親子子子一
---------------	---------------	-----------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------	--------------	-------------	-------------	--------------	--------------	-------------	--------------

学校法人金城学院 アベル聖書研究会 光ヶ丘女子高等学校 日本キリスト教団南山教会
 日本基督教団愛知教会女性の会 名古屋東教会婦人会 聖ドミニコ宣教修道女会
 名古屋学院大学宗教部 カトリック南山教会 カトリック布池教会 名古屋北教会社会奉仕委員会
 金城教会福祉社会委員会 在韓名古屋教会女性会 聖霊奉侍布教修道女会

歳末クリスマス募金

島田吉枝 浦下桂子 芝原慶次・ゆかり 日本聖公会一宮聖公会

賛助寄付

川名山聖霊修道院 名東歯車(株) 理研産業(株) 名証取引参加者協会
(株)東海通信資材サービス (株)ヤタコーポレーション 豊田L&F中部(株)
アサダ(株) 杉山工業(株) (株)槌屋 西枇工業(株) 武田機工(株)
万能工業(株) 豊田合成(株) 愛三工業(株) 宗教法人薬師寺 崇覚寺
中部善意銀行 豊田ボランティア協会 トヨタ自動車(株)

助成金

社会福祉法人東海テレビ福祉文化事業団
愛知県共同募金

満員御礼 大成功のチャリティコンサート

「カンツォーネとアリアの夕べ」

名古屋いのちの電話春のチャリティコンサートが4月24日、名古屋中央教会で開かれました。今回のプログラムは、ちょっとお洒落な「カンツォーネとアリアの夕べ」です。出演は関西を中心に活躍するテノールの加藤ヒロユキさんとピアノ伴奏の沢村美香さん、それにゲスト出演として広報委員長の長井潤さんがギター伴奏で加わりました。

当日は早くから入場者の列がひきもきらず、開演前には中央教会の2階ホールは立ち見も出るくらいの超満員のお客様でふくれあがりました。「大入袋が出るわよ」というスタッフの嬉しい冗談もささやかれるほどの熱っぽい雰囲気の中でコンサートの幕があきました。

テノールの加藤さんは、180センチをゆうに超す堂々たる体躯にびしときめたタキシードがよく似合う声量豊かな偉丈夫、パートナーの沢村さんもすらりとした長身の華のある美しいピアニストです。ステージは「帰れソレントへ」の第一声から伸びのある艶やかな美声で満員の聴衆の心をぐっと惹きつけるともう加藤さんの世界。終曲の「アメイジング・グレース」からアンコールの「オーソレ・ミオ」まで、ユーモアを交えた絶妙な語



り口でお客様の笑いを誘ったり、カンツォーネの聴かせどころではため息をつかせたりとの1時間半はあっという間に過ぎてしまいました。途中でステージに上がった長井さんのギター演奏もなかなかのもので、急な共演ながら加藤さんとの息のあったところを聴かせてくれました。

加藤さんは、大阪の毎日放送でラジオのレギュラー番組を持っているというだけあっておしゃべりのほうも一流ですが、何よりも感心したのはコンサートをいっしょに楽しみましょうという一生懸命のステージマナーでした。お客様の大きな拍手もきっとこのサービス精神に溢れた一生懸命さに贈られたものと思います。

なお、今回のコンサートの収益金357,677円は、名古屋いのちの電話の運営資金の一部として活用させていただきます。皆様のご協力に改めてお礼を申し上げます。

日本いのちの電話連盟だより

日本いのちの電話連盟には現在全国で49センターが加盟しています。北は旭川から南の沖縄まで、年間行事としましては、定期総会、事務局長会議、相談員全国研修会、自殺防止ネットワーク事業としてのフリーダイヤルが主なものです。去る6月4日に定期総会が全国から47人の出席者と陪席者5人で、東京ルーテル・センターで開かれました。その席上で今年度も厚生労働省補助事業により「自殺防止のフリーダイヤル」が12月1日から7日まで施行されることが決定いたしました。また、人事の異動で、事務局長の徳善登世子氏の辞任により、岡本正子氏が今回の総会で事務局長として承認されました。

3年間開催のなかった相談員全国研修会が11月25日から広島で開かれます。今年のテーマは「生きる」～出会いとかかわりの中で～と題して全国からの多くの相談員の参加を募っています。

賛助会員を募集しています

ご協力をお願いします

いつも資金ボランティアとして会費やご寄付をいただき有難うございます。心から御礼申し上げます。会員の皆様の倍旧のご支援と共に、会員増加の運動にもお力添えを賜りますようお願いいたします。社会福祉法人として寄付金の税法上優遇措置が受けられます。誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用くだされば幸いです。

- (1) 法人会費 年間5万円・10万円・20万円
- (2) 賛助会員(年間1口) A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円
- (3) 一般寄付はご自由な金額で結構です
- (4) 夏期・年末寄付

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会

口座番号 UFJ銀行大津町支店(普) 477029

郵便振替口座 00810-8-53758

お問い合わせ…社会福祉法人愛知いのちの電話協会 名古屋いのちの電話事務局 ☎ 971-5181

編集後記

小誌の編集に携ってから4年目、No1から関わっている先輩の指導のもと覚束ない足取りながら巻頭の詩を担当しております。何が変わったかと言って、感受性はさっぱりながら、少なくとも詩に出会う機会をつくろうという姿勢だけはいづれか育ってきたかなと思っています。

さて今回お載せすることができた詩は、すずらんの会編、角川書店発行の「電池が切れるまで」より、これが遺作となってしまった宮越由貴奈さんの『命』です。ある新聞の記事の中でこの詩に初めて出会った時、命の限りをせいっぱい輝きを放ちながら生き抜いた少女の姿が眼前に迫り、涙が溢れました。この感動を是非皆様と分かち合いたいと願って出版元にアタックし、掲載の快諾を戴いたという次第です。

次号にも、この作品集からの詩を感謝しつつ、使わせて戴く予定です。由貴奈さんのご冥福を改めてお祈り申し上げます。

この機関紙「名古屋いのちの電話」は、愛知県共同募金赤い羽根募金配分金の一部をつかって作成されました。

共同募金 赤い羽根募金



社会福祉法人愛知いのちの電話協会
名古屋いのちの電話

2004年夏

〒461-8691 名古屋東郵便局 私書箱第257号

事務局 052-971-5181

郵便振替口座 00810-8-53758

2004年7月1日発行

発行人 野村 純一

相談電話 052-971-4343

UFJ銀行大津町支店(普) 477029

編集人 広報委員会

携帯相談電話 NTTドコモ東海「# 9556」